

特別企画 日本におけるチェコ文化年2017



# チェコ映画の全貌

30年代から70年代まで。知られざるチェコ映画の世界。



天井



閣下に報告



アデラ/ニック・カーター、プラハの対決



マルケータ・ラザロヴァー

Photo courtesy National Film Archive

通常上映 アーカイヴ・コレクションPart11

## アレクサンダー・クルーゲ監督特集

総合図書館が収蔵する貴重な作品を選んで上映。ドイツのアレクサンダー・クルーゲ監督の特集。



明日からの別れ



定めなき女



感情の力



愛国女性

特別  
企画

# チェコ映画の全貌

30年代から70年代まで。知られざるチェコ映画の世界。

会期:2月1日(木)~2月25日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

主催:東京国立近代美術館フィルムセンター チェコ国立フィルムアーカイブ チェコセンター東京 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)



Photo courtesy National Film Archive

2/1(木) 14:00 2/10(土) 11:00

## 土曜から日曜

監督:グスタフ・マハティール  
出演:マグダ・マジェロヴァー  
ラジスラフ・ヘルベルト・ストゥルナ  
1931年/デジタル/モノクロ/73分  
日本語・英語字幕付き



タイピストのマーニャ(マジェロヴァー)は、同僚に誘われて紳士二人とナイトクラブへ行くが、彼らの魂胆に気づいて逃げ出す。労働者の酒場にたどり着いた彼女は、感じのよい植字工(ストゥルナ)に好意を抱く。男女の恋の喜びと、映画が音を得た喜びとが、あたかも同調しているかのようなマハティールの初期トーキー。2曲の挿入歌はチェコのスタンダード・ナンバーとなった。2016年に復元。

2/3(土) 14:00 2/16(金) 14:00

## 閣下に報告

監督:カレル・ステクリー  
出演:ルドルフ・フルシーンスキー  
スヴァトブルク・ベネシュ  
1958年/デジタル/カラー/96分  
日本語・英語字幕付き



「お人好しの兵士シュヴェイク」の続篇。シュヴェイク(フルシーンスキー)は、前線への異動を命じられた中尉(ベネシュ)に付いていくが、案の定至る所で軍人らしい行動から逸脱し、中尉ともはぐれてしまう…。シュヴェイクのトリックスターぶりは今作で一層磨きがかかり、軍隊組織の価値観をことごとく転覆させていく。2016年にオリジナルネガ(画)、デューブポジ(音)から復元。

2/9(金) 11:00 2/12(月・休) 14:00

## 厳重に監視された列車

監督:イジー・メンツル  
出演:ヴァーツラフ・ネツカーシュ  
イトカ・バンドヴァー  
1966年/デジタル/モノクロ/93分  
日本語・英語字幕付き



イジー・メンツルの衝撃的な長篇デビュー作。第二次大戦期、ドイツ保護領となったチェコスロヴァキアの村で見習い駅員として働くミロシュ(ネツカーシュ)は、恋人との性交渉を完遂できない自分に絶望し、自殺を試みる…。「男」にならない少年の葛藤を通して、それを強いる社会のいびつさが浮かび上がる。多用される夜や静寂の場が、鮮烈なラストを一層際立たせる。

2/2(金) 14:00 2/10(土) 14:00

## サイレン

監督:カレル・ステクリー  
出演:マリエ・ヴァーショヴァー  
ラジスラフ・ポハーチュ  
1947年/デジタル/モノクロ/78分  
日本語字幕付き



同名小説を原作とし、1889年にブラハ郊外の鉱山で起こった大ストライキとその鎮圧までを、労働者のフデック(ポハーチュ)一家を中心に描く。特に女性と子供の視点が重視され、労働者階級の苦しみと希望を描くことに賭けているかのような本作には、幻想的な美しさも共存。ヴェネツィア国際映画祭グランプリを受賞し、第二次大戦後のチェコスロヴァキア映画に国際的な注目を集めた。

2/4(日) 14:00 2/21(水) 11:00

## 鳩

監督:フランチシェク・ヴラーチル  
出演:カテナ・イルマノヴォヴァー  
カレル・スミチュク  
1960年/デジタル/モノクロ/70分  
日本語字幕付き



バルト海に浮かぶ西独領の島でレース鳩の帰りを待つ少女(イルマノヴォヴァー)。だが彼女の鳩はブラハにいた。鳩を撃って負傷させた車椅子の少年(スミチュク)と、その鳩を拾った芸術家が、心を通わせ始める…。ヴラーチルの長篇劇映画デビュー作で、チェコ・ヌーヴェルヴァーグの嚆矢とされる作品。象徴主義的なイメージと構築された映像美が観る者の心を強く打つ。

2/9(金) 14:00 2/17(土) 14:00

## マルケータ・ラザロヴァー

監督:フランチシェク・ヴラーチル  
出演:マグダ・ヴァーシャーリョヴァー  
ヨゼフ・ケムル  
1967年/デジタル/モノクロ/166分  
日本語・英語字幕付き



チェコの映画批評家・記者から1998年にチェコ映画史上最も重要な作品として選ばれた叙事詩大作。中世の盗賊騎士団の争いにキリスト教と異教の対立を交え、敵対する首領(ケムル)の息子を愛したマルケータ(ヴァーシャーリョヴァー)の生き様を二部構成で描く。シネマスコープの硬質な白黒映像で前衛的な手法も駆使して作り上げたヴラーチルの壮大な「フィルム＝オペラ」。

2/4(日) 11:00 2/15(木) 14:00

## クラカチット

監督:オタル・ヴァーヴラ  
出演:カレル・ヘゲル  
フロレンス・マーリー  
1948年/デジタル/モノクロ/102分  
日本語・英語字幕付き



K・チャベックの同名小説を映画化。「クラカチット」とは強力な原子爆弾の名であり、その発明を悔やむ化学者プロコプ(ヘゲル)が、爆弾の使用と製造を止めるべく奮闘する。映画がプロコプの、夢とも幻想とも付かない主観的な語りによって、陰影に満ちた映像と共に展開し、SFノワールとでも形容すべき破滅的な世界を描き出す。オリジナルネガ(画)とデューブポジ(音)から2016年に復元。

2/8(木) 11:00 2/12(月・休) 11:00

## 夜のダイヤモンド

監督:ヤン・ニューメツ  
出演:ラジスラフ・ヤンスキー  
アントニン・クムベラ  
1964年/デジタル/モノクロ/67分  
日本語・英語字幕付き



「チェコ・ヌーヴェルヴァーグの恐るべき子供」と評されるニューメツの代表作の一つ。収容所へ向かう列車を脱走した二人の少年(ヤンスキー、クムベラ)。飢えや疲労と闘いながら歩き続ける彼らを、ドイツ人の老人たちから成る自警団の猟銃が狙う。回想や幻想のシーンを繰り返し挿入する手法が、少年たちの絶望的な不安と恐怖を描き出す。

2/18(日) 14:00 2/24(土) 11:00

## 火事だよ! カワイ子ちゃん

監督:ミロシュ・フォルマン  
出演:ヤン・ヴォストゥルチル  
ヨゼフ・シェパーネク  
1967年/デジタル/カラー/73分  
日本語・英語字幕付き



チェコ・ヌーヴェルヴァーグを代表する破壊的コメディ。地方の町の消防署が主催するダンスパーティーを舞台に、予定されていた催しが、勘違いや嘘などによってことごとく実行不可能となり、秩序が転覆していく。ギャグが止めどなく有機的に連鎖するさまは絶品。「ブラハの春」に対する軍事介入・弾圧の流れに伴い、本作は「永久上映禁止」となり、フォルマンのチェコスロヴァキア時代の最後の作品となった。

2/3(土) 11:00 2/16(金) 11:00

## お人好しの兵士シュヴェイク

監督:カレル・ステクリー  
出演:ルドルフ・フルシーンスキー  
ミロシュ・コベツキー  
1957年/デジタル/カラー/111分  
日本語・英語字幕付き



ハジェクの大人気小説の映画化で、続篇「閣下に報告」と合わせて、最も有名なバージョンとされる。1914年、サラエヴォ事件が勃発し戦争の気配が漂う中、商人シュヴェイク(フルシーンスキー)が、ひよんなことから愚か者の烙印を押され、神父(コベツキー)、続いて中尉(ベネシュ)に仕えるようになる。彼の愚直さが権威や戦争を否定していく風刺劇。2016年にオリジナルネガとサウンドネガから復元。

2/8(木) 14:00 2/11(日) 11:00

## ホップ・サイド・ストーリー

監督:ラジスラフ・リヒマン  
出演:ヴラジミール・ブホルト  
イヴァナ・バヴロヴァー  
1964年/デジタル/カラー/93分  
日本語・英語字幕付き



ホップ摘みの奉仕作業に来た高校生の二団。文学少年のフィリップ(ブホルト)と、華やかなハンケ(バヴロヴァー)との間に芽生えた純愛の行方を描くミュージカル。キャッチーな楽曲と振付けに彩られた人気作で、「ブラハの春」へと向かう若者たちの空気をとらえた感がある。いくつものミュージカル映画を手掛けた監督のリヒマンは、チェコのミュージック・ビデオの先駆的存在でもあった。オリジナルネガと4トラック磁気サウンドトラックから2016年に復元。

2/17(土) 11:00 2/23(金) 14:00

## すべての善良なる同胞

監督:ヴォイチェフ・ヤスニー  
出演:ラドスラフ・ブルゾボハティ  
ヴラジミール・プロツキー  
1969年/デジタル/カラー/121分  
日本語・英語字幕付き



モラヴィア地方の農村に暮らす人々の13年以上にわたる運命のドラマが、ユーモアとアイロニーを交えつつ、詩情豊かに描かれる。1950年代・60年代のチェコスロヴァキア映画を牽引した一人であるヤスニー監督は、本作でカンヌ映画祭監督賞を受賞したが、国内での「永久上映禁止」処分を受け、国外へ脱出した。オチェナージュ役のプロツキーは戦後のチェコスロヴァキア映画を代表する名優で、『嘘つきヤコブ』(1974, DEFA)の主演も務めた。

通常上映

アーカイブ・コレクションPart11

# アレクサンダー・クルーゲ監督特集

総合図書館が収蔵する貴重な作品を選んで上映。  
ドイツのアレクサンダー・クルーゲ監督の特集。

会期:3月1日(木)~3月4日(日)

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

主催:東京ドイツ文化センター 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)



2/7(水) 14:00 2/11(日) 14:00

## 天井

監督:ヴィエラ・ヒチロヴァー

出演:マルタ・カニョフスカー  
ユリアーン・ヒチル

1963年/デジタル/モノクロ/43分  
日本語字幕付き



ヒチロヴァーの舞台芸術アカデミー映画・テレビ学部(FAMU)卒業制作作品。医大生からファッションモデルに転身した若い女性マルタ(カニョフスカー)が、華やかな生活とは裏腹に空虚感を募らせていく様が、シネマ・ヴェリテの撮影とスタイリッシュな編集で綴られる。FAMUの学生だったイジー・メンツル、ミロシュ・フォルマンが出演。1961年制作の本作は、翌年の『袋いっぱい』と共に1963年に上映された。

## 袋いっぱいの蚤

監督:ヴィエラ・ヒチロヴァー

出演:ヘルガ・チョチュコヴァー

1963年/デジタル/モノクロ/45分  
日本語・英語字幕付き



『天井』同様にシネマ・ヴェリテ的手法を用いた作品。違反行動の多いヤナを中心に、女子寮の寮生たちの日常が、新入りエヴァ(チョチュコヴァー)の視点で生き生きと映し出される。カメラネガと1963年のヴェネツィア国際映画祭上映プリントから2012年に復元。

2/18(日) 11:00 2/23(金) 11:00

## アデルハイト

監督:フランツェック・ヴラーテル

出演:ベトル・チュベク  
エマ・チェルナー

1970年/デジタル/カラー/104分  
日本語・英語字幕付き



第二次大戦直後に帰国し、国境地帯ズデーテンで元ナチ高官の邸宅を管理することになった元チェコ将校(チュベク)が、彼の家政婦として働く高官の娘アデルハイト(チェルナー)と、閉塞的な環境の中で孤独のうちに心を通わせ、恋に落ちるが…。ヴラーテルのカラー映画第一作で、言語の異なる二人の心の機微と葛藤を濃密な映像で提示していく心理劇。

2/21(水) 14:00 2/24(土) 14:00

## 新入りの死刑執行人のための事件

監督:パヴェル・ユラーチェク

出演:ルボミール・コステルカ  
クララ・イェルネコヴァー

1970年/デジタル/モノクロ/107分  
日本語・英語字幕付き



J・スウィフトの『ガリヴァー旅行記』第3篇を映画化した問題作。自動車事故から辛くも生還した男ガリヴァー(コステルカ)が、2つの国(バルニバービとラビュタ)を訪れ、悪夢のような不条理な体験をする。チェコスロヴァキア政府を過激に諷刺した本作は公開直後に禁止され、ユラーチェクの映画キャリアを終わらせてしまうこととなった。

2/22(木) 11:00 2/25(日) 11:00

## ほうぎに乗った女の子

監督:ヴァーツラフ・ヴォルリーチェク

出演:ベトラ・チェルノツカー  
ヤン・フルシーンスキー

1972年/デジタル/カラー/79分/日本語字幕付き



魔法学校に通う女の子サクサナ(チェルノツカー)は、300年の居残りを命じられた放課後、人間界に44時間居られる魔法を使って逃亡。青年ホンザ(フルシーンスキー)らと触れ合いながら、善悪や現実など多くのことを学ぶ。サクサナが起こす珍騒動を軸にしたスクールコメディで、全篇にトリック撮影を多用。主題歌は歌手チェルノツカーの代表曲となった。

2/22(木) 14:00 2/25(日) 14:00

## アデラ/ニック・カーター、プラハの対決

監督:オールドジフ・リブスキー

出演:ミハル・ドチョロマンスキー  
ルドルフ・フルシーンスキー

1978年/デジタル/カラー/107分  
日本語・英語字幕付き



『レモネード・ジョー 或いは、ホースオペラ』(1964)のリブスキー&ブルデチュカコンビが再び組んだ快活喜活劇。アメリカの名探偵ニック・カーター(ドチョロマンスキー)が、プラハで謎の食人植物アデラと対決する。怒涛のごとく繰り出されるギャグやギミックが、映画草創期に大流行した連続活劇の娯楽精神を甦らせる。

3/1(木) 11:00 3/3(土) 11:00

## 昨日からの別れ

東ドイツから単身で西側に渡った女性アニタ。ユダヤ人というだけで学校に通えなかった彼女は教養に飢えており、社会のルールに従うのではなく、より哲学的に生きたいと望んでいる。「寒いから」という理由だけで同僚のカデガンを着用したアニタは、法廷に立たされるも判事のありきたりな質問にうんざりするばかり。そんな彼女の反社会的な彷徨を描いた異色作。



監督:アレクサンダー・クルーゲ

出演:アレクサンドラ・クルーゲ  
ギュンター・マック

1966年/16ミリ/モノクロ/84分/ドイツ

3/1(木) 14:00 3/3(土) 17:00

## サーカス小屋の芸人たち 処置なし

命の危険と隣り合わせのサーカス芸人たち。その日々をスケッチ風に淡々と描きながら、資本主義社会に「流れ者」のユートピアはあり得るかを問う。座長だった父をサーカス中の事故で失った娘。彼女はサーカス小屋の経営革新を試みるが、資金集めは難航し、団員たちとも対立を深めていくのだった。様々な引用文献や映像をコラージュした実験的作品。



監督:アレクサンダー・クルーゲ

出演:ハンネローレ・ホーガー  
クルト・ユルゲンズ

1968年/16ミリ/モノクロ(一部カラー)/103分/ドイツ

3/2(金) 17:00 3/4(日) 11:00

## 定めなき女の日々

女性医のロスヴィータには三人の子供と、無職の夫フランツがいた。フランツは妻に養ってもらっているにも関わらず、彼女の職業を不服としている。なぜならロスヴィータの主な仕事は「墮胎」だったから。様々な葛藤を経て、彼女は墮胎医を辞め、政治活動の道に入るのだった。男性社会に対する女性の抵抗を描いたセンセーショナルな作品。



監督:アレクサンダー・クルーゲ

出演:アレクサンドラ・クルーゲ  
シルヴィア・カルトマン

1973年/16ミリ/モノクロ/87分/ドイツ

3/2(金) 11:00 3/3(土) 14:00

## 感情の力

オーケストラの演奏をバックに、フランクフルトの街並が現われる。空港に着陸しようとしている飛行機、立ち並ぶ高層住宅、戦車を先頭に進む歩兵たち、幼児の姿…。フランクフルトのオペラ劇場との共同作業によって製作されたこの作品は、26の映像断片から構成されている。物語ではなく、「感情の力」そのものを表現すべく作られたイメージのアンソロジー。



監督:アレクサンダー・クルーゲ

出演:ハンネローレ・ホーガー  
アレクサンドラ・クルーゲ

1983年/16ミリ/カラー/115分/ドイツ

3/2(金) 14:00 3/4(日) 14:00

## 愛国女性

歴史教師のガービ・タイヒェルト女史は、第二次大戦後にドイツ人を支配している深刻な「歴史喪失」に直面する。愛国心を取り戻すには、歴史教材が致命的に欠けているのではないかと考えた彼女はシャベルを手に、盗掘者として町の地下に眠る歴史を掘りだそうとする。戦争映画や絵画、コミック等の挿入が引き起こす映像の混乱に、「歴史」が浮かびあがる。



監督:アレクサンダー・クルーゲ

出演:ハンネローレ・ホーガー  
ディーター・マインカ

1979年/16ミリ/モノクロ/123分/ドイツ



1 木	14:00 土曜から日曜	
2 金	14:00 サイレン	
3 土	11:00 お人好しの兵士シュヴェイク	14:00 閣下に報告
4 日	11:00 クラカチット	14:00 鳩
5 月	休館日	
6 火	休映日	
7 水	14:00 天井 袋いっぱいのお	
8 木	11:00 夜のダイヤモンド	14:00 ホップ・サイド・ストーリー
9 金	11:00 嚴重に監視された列車	14:00 マルケータ・ラザロヴァー
10 土	11:00 土曜から日曜	14:00 サイレン
11 日祝	11:00 ホップ・サイド・ストーリー	14:00 天井 袋いっぱいのお
12 月休	11:00 夜のダイヤモンド	14:00 嚴重に監視された列車
13 火	休館日	
14 水	休映日	
15 木	14:00 クラカチット	
16 金	11:00 お人好しの兵士シュヴェイク	14:00 閣下に報告
17 土	11:00 すべての善良なる同胞	14:00 マルケータ・ラザロヴァー
18 日	11:00 アデルハイト	14:00 火車だよ! カワイ子ちゃん
19 月	休館日	
20 火	休映日	
21 水	11:00 鳩	14:00 新入りの死刑執行人のための事件
22 木	11:00 ほうぎに乗った女の子	14:00 アデラ/ニック・カーター、プラハの対決
23 金	11:00 アデルハイト	14:00 すべての善良なる同胞
24 土	11:00 火車だよ! カワイ子ちゃん	14:00 新入りの死刑執行人のための事件
25 日	11:00 ほうぎに乗った女の子	14:00 アデラ/ニック・カーター、プラハの対決
26 月	休館日	
27 火	休映日	
28 水	休館日	

子  
エ  
コ  
映  
画  
の  
全  
貌



1 木	11:00 昨日からの別れ	14:00 サーカス小屋の芸人たち 処置なし	
2 金	11:00 感情の力	14:00 愛国女性	17:00 定めなき女の日々
3 土	11:00 昨日からの別れ	14:00 感情の力	17:00 サーカス小屋の芸人たち 処置なし
4 日	11:00 定めなき女の日々	14:00 愛国女性	
5 月▶12月	図書整理・点検のため休館		
13 火▶18日	休映日		
19 月	休館日		
20 火▶23金	休映日		

監督特集  
アレクサンダー・クルーゲ

### アレクサンダー・クルーゲ (1932-)

1958年にフリッツ・ラングと知り合い、助手を務める。1960年にP・シャモニと共同で製作した短編映画『石の獣性』でデビュー、同年のオーバーハウゼン国際短編映画祭で6つの賞を受けるなど好評を博す。1962年には「オーバーハウゼン宣言」に参加し、以降「若きドイツ映画」の中心的作家として活躍する。1966年に最初の長編『昨日からの別れ』がヴェネツィア国際映画祭で銀獅子賞を受賞、翌年の長編『サーカス小屋の芸人たち 処置なし』も同映画祭で金賞を受賞し、国際的な名声を得た。なお「オーバーハウゼン宣言」とは、ドイツにおける新時代の長編劇映画を模索するきっかけとなったもので、「パパの映画は死んだ」をモットーとしている。

### 図書整理・点検のための休館

福岡市総合図書館は3月5日(月)～3月12日(月)まで図書整理のため休館します。休館中も図書は返却ポスト等に返却できます。図書整理期間中CD、DVD、VHSは総合図書館警備員室前のボックスに返却することができます。

### 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ  
うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

百道ランプ  
都市高速道路  
福岡タワー  
福岡ドーム  
福岡タワー 博物館  
南口バス停 北口バス停  
遊歩道  
福岡市総合図書館  
福岡市博物館 中国総領事館  
よかとピア通り  
博物館南口バス停  
福岡市営地下鉄  
藤崎 西新

**交通アクセス**

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】  
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】  
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分  
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター(tel.0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

### 第386回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日時:2018年2月9日(金) 12:00~13:00 ※入場無料  
場所:西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)  
曲目:シューベルト作曲 弦楽四重奏曲第2番ハ長調 D.32 他  
演奏者:福岡ハイドン弦楽四重奏団  
主催:西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(TEL.092-473-6777)

